



2015～16 年度  
国際ロータリー会長  
K. R. ラビンドラン

# Weekly Report Niigata



2015～16 年度  
新潟ロータリークラブ会長  
竹石 松次



**世界へのプレゼントになろう**

2015～16 年度 国際ロータリーのテーマ

新潟 RC7月第 2 例会 (2015.7.14) No.3095

(1) ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

(2) 竹石 松次 会長挨拶

中野貫一

弘化三年(1864)～昭和三年(1928)

新潟市秋葉区金津(新津市・金津村)で生まれる。父・次郎右衛門、母・シゲの長男として誕生、名前は年号から弘平と名付けられた。その後、庄屋を継いだ時に次郎左衛門、二十五歳の時、明治四年戸籍法により名は体を表すということで、一つのことを貫き通すという意味で貫一と改名した。

七歳の時から約三キロ離れた朝日村(新津市大字朝日)にあった実学館で読み書きを習った。師匠は医師であり、学者でもあった本多文明、敬斎である。貫一が生涯にわたって敬愛した本多親子は、新潟県医学界でも先駆者として活躍した程で、金津村の庄屋であった中野家とは親しかった縁で可愛がられ、その後の人生相談の師となった。

実学館には十四歳まで七年間通っていたが、父次郎左衛門が病で倒れたため一家を支えることと、代々続く庄屋の次郎左衛門としての役割が巡ってきたからである。地区での調整役に加え石油採掘の本格的な大仕事が待っていた。

新津の石油は、父の代から細々と続いていた。信濃川と丘陵地の護摩堂山系に至る地域に古くから石油が湧出していた。

「日本書紀」によれば、天智天皇の七年(668)に、「越の国から燃ゆる土燃ゆる水を献ず」の記録があるが、新潟県内の新津市、胎内市、出雲崎町で古くから石油の産出が認められている。新津では草水の地名があり、江戸時代に発刊された橘崑崙の「北越奇談」で紹介されている。

今から凡そ二百年前、中野家は家号を「泉屋」とし、油の採掘、販売を事業としていたが、採掘方法は坪状に掘った穴に湧き出た油を藁で浸し搾り取るという原始的な方法で一日の採油量は文久三年(1863)に、一か月十・八リットル、年間三百三十五リットルと記録されている。

明治維新の動乱期の中で中野貫一として名実共に活躍の場を得ることとなった。ランプが西洋から導入され、また、石油採

掘権も国が持ち、許可制となった。採掘方法も手掘り、上総堀りと進化し、数メートルだった井戸から二十数メートルまで進化、漸く石油の鉱脈を引き当てた。一日の採掘量は二百リットル、昔の一年分に相当する量となった。

明治三十六年(1903)、米国式の搾井機を導入、手掘り、上総堀りから近代的な技術が新津油田で主流となった。

新津油田は明治三十四年から本格的な生産活動が始まり、その最盛期は明治四十二年頃までであった。

昭和三年、八十二歳の生涯を終えた。

第一、 可成徒歩のこと

第二、 仕事を廃さぬこと

第三、 仕事を廃さぬこと

第四、 清水を飲むこと

第五、 酒を飲まず、煙草を喫まぬこと

第六、 簡易生活に甘んずること

第七、 早起き早寝をすること

第八、 教会に出席すること (之を日本にては、神仏と改む)

中野貫一は、金津村の村長、大正元年には衆議院議員に選ばれ二期務めている。生涯にわたって清貧を旨とし、新開地への支援、教育、文化、福祉への社会貢献を続け、ハイカラ人生を全うした。

八十三歳の長寿を全うした中野貫一は、辞世の句を残している。

「無理おごり朝寝かけごとつつしみて生業はげめば国は栄えん」

### (3) ビジターの紹介

山本 和則ガバナー、角南 邦彦地区幹事  
(新潟南RC)  
高橋 英樹ガバナー補佐(新潟東RC)

### (4) 各種ご寄付の発表

#### ロータリー財団寄付発表(織戸 潔委員長)

高橋 康隆君 田村貫次郎君

#### 米山奨学会寄付発表(小林 敬直委員長)

樋熊 紀雄君 徳永 昭輝君

高橋 康隆君 小林 敬直君

#### 青少年育成基金寄付発表(小林 悟委員長)

樋熊 紀雄君

### (5) ニコニコボックス紹介

- ・山本和則ガバナー (コメントなし)
- ・竹石 松次会長、樋熊 紀雄副会長 山本ガバナーをお迎えして。
- ・白勢 仁士君 敬愛する山本ガバナー、高橋 ガバナー補佐、角南地区幹事をお迎えして。
- ・塚田 正幸君 1)2005~6年同期会長として1年間共にした山本和則さんがガバナーとして公式訪問される事を心から歓迎します。敷居が低くなった新潟クラブでどうぞお楽しみ下さい。
- 2)6月に米国へ行ってきました。ニューヨーク滞在中の6月4日7230地区ニューヨークロータリークラブでメークアップしてきました。受付で会費50ドルを払って席に着きましたが8人テーブルが4つ。小さなクラブだと思い、会員数を聞いたら130名との事。出席率何と20%台！外国人ビジターが他に3人いてそれぞれ英語で自己紹介しました。バナーにNo.6と書いてあったので何の数字か聞いたらニューヨークで6番目に出来た1909年創立の古いクラブとのこと。4~5名から話しかけられ名刺交換しましたが英語がよく分かりませんでした。緊張しましたが滅多にない経験でした。
- ・大沢 強君 7/3誕生日を迎えました。「あっ」と言うまの1年でした。とりあえず健康に迎えてニコニコです。
- ・仙石 正和君 先日、結婚記念日のお花を頂戴いたしました。美しい、そして暖かい感じのお花で、結婚何年目かも忘れがちな私達ですが、家内ともども喜んだ次第です。ありがとうございました。

### (6) 幹事報告(吉田 和弘幹事)

- ・8月8日(土)長岡震災アーカイブセンターに於いて地区防災セミナーが開催されます。
- ・9月5日(土)ANAクラウンプラザホテルに於いてIMが開催されます。

### (7) 山本和則ガバナーご講演



### (8) 本日の出席率 80.00%

会員数94名(出席免除会員 8名)

出席者72名(出席免除会員4名を含む)

(2週間前メーク後 86.67%)

### 7月21日の例会予定

クラブフォーラム「事業計画の発表」

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>